

建設未来京都フォーラム 2017 記念事業

インタビュー集

“女性たちが語る建設業の未来”

建設未来京都フォーラム事務局

ごあいさつ

”百花繚乱！～多様性の建設業～”

建設業法による業種は29種類と多様な職種から構成されています。それぞれがプロフェッショナルな技能や技術に裏打ちされ、隣接する業種とも連携しながら工事完成を目指します。

国土交通省は「建設産業政策2017+10～若い人たちに明日の建設産業を語ろう～」において、国民の安全・安心や経済成長に持続的に貢献するために、10年後を見据えて、建設産業に関わる各種「制度インフラ」の再構築を目指すとしています。

創造的に多様性を發揮し女性たちが活躍する建設業として、次なる10年後を迎えるために「シンポジウム建設未来京都フォーラム2017 ”百花繚乱！～多様性の建設業～”」を、男性はもとより女性に風通しの良い建設業の実現に向けて開催いたします。

多様な視点、多様な技術、そして柔軟な感性が、不確実で課題多き未来を越えていく切り札となるのではないかと考えます。

本年も記念事業、インタビュー集『女性たちが語る建設業の未来』に様々なお声をお寄せいただきました。すでに多くの人々は、多様性のなかにある生として懸命に生きる使命があることに気づき、そのように命や暮らしを守っています。

私たちのより良き未来のために、働く人々の声をお届けいたします。

建設未来京都フォーラム事務局

“建設業はワンダーランド、ジブリの世界！”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 14 年
- ・建設業に関わったきっかけ：父が立ち上げた会社に就職したこと。

自身の親の仕事ながら、具体的には何をやっているかは全く知らず、私は私で、自由に人生を歩ませてもらっていました。私が東京で働いているときに、父が入院し、今後経過が不安であるということが判明し、地元に戻ることを決意。母の仕事を手伝うつもりで帰ってきました。父が入院したことで、会社の中が非常に混乱している現実を目の当たりにし、父の仕事を営業として手伝うことを決意しました。入社後早々に父親の後継をし、建設業も行う当社の代表取締役となりました。

- ・職種：当社は金属の表面処理加工業を行っています。なかでも「溶射」という表面処理業の工事を得意としています。職種は代表取締役。中小企業ですから、営業、経理、総務も行っています。

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

当社はコンビナート内のケミカルプラント設備のある場所へ営業に行きます。製鉄所の高炉や配管など、巨大プラントの立ち並ぶ光景は迫力で、初めて近くで実物を見たときは、ジブリ映画の中に入ったかのような景色でした。友人にもこの光景を伝えたい、写真だけでも見せたい、と思いましたが、客先の機密事項のため、写真撮影が禁止ですからかないません。

また、現場の確認に行った際、戦前からの古い工作機を見せていただくことがありました。普通の人入れないところで、日常では見ることができない物を見て触れる機会があるのは、この業界に入らなければ経験できなかったと思います。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

人材の問題です。私が入社した当初は特に、休日もなく、3K のイメージも大きいため、ハローワークで募集しても全く人員が集まらない状況でした。当社の技術を求めてもらう営業はやってきていましたが、当社に入社したいと希望してもらえるための「営業」＝「リクルート活動」はなにもしていないと、転職セミナーなどに参加してみて気づきました。ただ「いい人が来ない！」などと愚痴るだけでなく、会社が魅力的に見えないと人材は集まらないのです。また、見えるだけでなく本物の魅力が必要なのだと実感し、少しずつ休日を増やしていました。今では週休二日、年間休日 114 日を実現しています。また、工事などで休みが取れなかった場合は、代休をしっかり取得してもらうようにしています。給与面や賞与なども見直しましたが、今はこの休日がきちんと取得できていることが一番喜ばれている気がします。

今、当社の理念の中に「社員も、その家族も、お客様も、地域の人も、当社にかかわるすべての人が笑顔になる会社を目指します」というものがあります。人員の採用基準も、仕事ができる人よりは、今いる社員と一緒に笑顔で仕事ができる人と決めています。

- 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

当初は、父の入院をきっかけに入社した経緯があったため、何が何でも会社を存続させるため、という必死の想いでした。社員も七転八倒している私を助けてくれました。ようやく会社が落ち着いた頃、苦労を分かち合った社員にも、いい生活がしてもらいたいと思うようになりました。その思いが今まで続けてこられた原動力になっていると思います。

長く続けていくためには、やはり望まれること。企業の存在価値は社会から望まれてこそ、です。変化を怖がらず、社会の流れをとらえて柔軟に対応する姿勢が大切なのではないかと思います。

- 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

「近頃の若者は」と批判するのは簡単ですが、そんなことを言っているだけでは、いい人材は集まりません。私たちも、社会の流れをつかみ、従来の建設業の常識にとらわれずに会社のルールや風土を変化させていかねばならないと思います。

客先からもらえる単価では、十分な待遇ができないという場合もありますが、利益は薄利でも、対応するよう努めています。結論としてコストがかかるのが実情ですが、若者が定着してくれるかもしれないと考え、旧い価値観を変化させたいと考えています。当社でも、建設業界においても、営業マンは男性が常識の中、新卒の女性を営業に採用しました。社内でも、異論反論ありましたが、すでに入社して5年目となり、女性として立派に営業をこなしております。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“現場経験があるからこそ、現場とオフィスの連携を目指したい！”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 23 年
- ・建設業に関わったきっかけ： 進学した短大が土木関係であったため
- ・職種（できるだけ具体的に）： 入社時は現場管理。営業事務、総務等業務全般を経て、現在は現場事務、補助に従事しています。

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

造ったものが形に残ること。担当した工事が無事完成し引渡しができた時、達成感があります。

※やりがいを感じたこと

土木工事なので人目につかず地中に埋まってしまうものが多いのですが、地域の方々のためになる、と思うととても意義があると感じています。発注側から満足度が評価として点数で表れるので、「次はもっと」という気持ちになれること。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労している事

現場と事務との連携がうまくいかないこと。また、事務作業が多く、達成感・モチベーションがあがらないこと。

※工夫している事柄

コミュニケーションをとること。声かけから、現状の状況・思いなど聞き出し、なかなか自分から発することのできない重要な事は社内・上司への情報とし、状況の改善に務める手助けをしています。また、今の業務を間違いなくやり遂げるよう、一度起こした失敗は繰り返さないようにすること。なんでも相談できる上司がいるので、不安・悩みが解消できること。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※今まで続けて来られた理由

やったことに達成感を感じるから。また、生活のため。

※長く仕事を続けていくためには何が必要だと思われますか？

今よりも良くなるよう、やりたいこととできることの差に屈することなく常に向上したい気持ちを持ち続けること。上司、同僚の理解。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性の場合

現場作業であれば、水道・トイレなど作業環境の改善（小規模工事の場合はどうしても予算が足りない）。会社経営陣・上司の理解。時間外業務、子供の急な病気や突発的な休みへの理解やフォロー。

※若者の場合

休日の確保。作業上、どうしてもカレンダー通りにいかないことが多い職種なので代休等にての完全対応。プライベート時間の確保。さらに、話やすい作業環境をつくること。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“やりがいは、子育て支援等社内制度の充実、円満な人間関係から”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 20 年
- ・建設業に関わったきっかけ： 事務仕事がしたくて就職した会社が建設業でした。
- ・職種： 工事事務として庶務、原価管理、事業計画の作成などを行っています。

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

自分の会社が携わった建物・道路・街などが出来ることです。

※やりがいを感じたこと

事務方として小さいことながらフォローし、役に立てた時です。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労している事

会社のマニュアル・決め事が社員全員で、共有出来ていないことです。

※工夫している事柄

出来るだけ発信システムズに仕事が進むよう努めています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

仕事のやりがいと、子育て支援などの社内制度、人間関係が円満である事だと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性の場合

建設業に限った事では無いのですが、子育て支援や介護支援などの社内制度の充実ではないでしょうか？子育て・介護でおもに従事するのは、まだまだ女性ではないでしょうか。各家庭の様々なケースに対応出来る柔軟な社内制度がある会社にこそ、女性が定着出来る会社だと思います。

※若者の場合

若者が建設業を魅力的な職種であると感じる事だと思います。仕事のやりがいを与え、若者を育てようという環境、古い体質から変化させることだと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“細やかなマニュアル作成で、情報化施工推進を！”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 8年
- ・建設業に関わったきっかけ： 大学で専攻
- ・職種： 開発行為申請の設計、施工・情報化施工の導入、推進 等

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

自分の設計した住宅団地に家が立ち並び始めたり、地図に反映されているのを見かけたりするうれしいです。

※やりがいを感じたこと

社内で情報化施工を推進するチームに所属しています。ほかの担当者の現場での情報化施工を導入するためのアシスト役や情報処理のサポートにも携わっていますが、アシストした現場が高評価を受けたときにやりがいを感じます。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労していること

情報化施工の推進は、當時必要なことではないので、通常業務に付加して組み込んでいかなければならず、時間的余裕がない時は対応に困ることがあります。

※工夫している事柄

現場担当者に分かるようにマニュアルを作成し、過去現場の事例などを揃えておくことで、新しい技術を取り入れていくことに現場担当者も協力的になってくれます。そのような資料は時間を見つけて作るようになっています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※今まで続けて来られた理由

的確に采配してくれる上司がいたことで、仕事に対する大きな悩みや不安を抱えることが少なかったこと。

※長く仕事を続けていくためには何が必要だと思われますか？

業務をする上でよい人間関係を築くことが大切だと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性の場合

男性が女性の得意とするような細かな作業が苦手なように、女性も男性のような仕事の仕方（力作業など）が出来るわけではないと思います。なので、それぞれの得意不得意を見極めて、互いに埋めあうこと出来るように仕事の仕方を考えていくことが必要ことだと思います。

※若者の場合

今まで普通とされていた平日の9時から17時まで会社で勤務するという業務体系が変化してきているように感じています。いろいろな勤務体系を整えていくことも必要かと感じます。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“建設業における女性活躍は、ワークライフバランスの調整を！”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 6ヶ月
- ・建設業に関わったきっかけ： 大学の専門が土木のため
- ・職種： i-Construction の仕事、現場支援。

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

大学の授業で見せられた二次元の画像から三次元の建設物に変わったこと。一年間で新入社員の域から脱出したいこと。様々な人に喜んでもらうこと。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

時代が変わりつつあることを、私たち若年層の新しい考え方を理解してもらうこと。しかし、i-Construction の仕事は斬新なことなので、現段階では共有しにくいこと。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

今も変わらず、新鮮な感性を持って、もっと建設業について理解したいため。根性を持つこと。やりがいがあること。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

若者を建設業に増やすため、建設業の魅力を感じてもらい、上司の適正な指示と仕事量の減少が必要。女性が結婚・出産・育児を考えた時に、仕事と時間のバランス調整が必要だと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“小さい子どもを子育て中の女性たちには、18時の壁がある”

▶ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 10か月
- ・建設業に関わったきっかけ： CADを勉強したので、CADを使って図面を描いてみたかったから。
- ・職種： 企画広報、営業補助、経理関係など

▶ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

建設業は男性が多い世界ですが、私は月1回、現場のパトロールと災害防止協議会に出席します。専門的な指摘はできないのですが、周囲が気づきにくい点や言い辛い点、女性の視点からの意見を出したときに、大変喜ばれることがあります。私の指摘で、現場の方の仕事を増やしているかもしれません、男集団の中に新鮮さや笑いを与えられた時には、喜びを感じます。

※やりがいを感じたこと

建設業界に関わらず、官公庁の方々、大学等、学校の先生など、様々な産官学の方々と知り合えて、お話しさせてもらい、新たな繋がりを持っています。特に、弊社の技術スタッフの働き方や取り組みについて、紹介させてもらった時に共感していただくと、やりがいを感じます。

▶ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労している事

事務所から現場が遠く、なかなか現場に足を運ぶことができません。私が出勤時間内で現場担当の社員たちと顔を合わせることも難しく、現場のメンバーとのコミュニケーションが取りにくいことです。また営業補助も行っていますが、遠方でのお客様と打合せに同行できません。どのような現場なのか、工事なのかが詳細に把握しきれていない場合があります。

※工夫している事柄

現在社内で動いている現場名、請負会社名、担当者などを表に書き留めて、把握するように心がけています。弊社は毎日、各自業務報告を書いて全社で共有するのですが、熟読しようと思っています。お会いしたことのない方でも、お名前と会社名が一致するように努めています。

現場のメンバーとは、積極的にコミュニケーション取りたいと思っています。現場に行く前日までは、電話やメールで連絡事項を伝えます。

▶ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※今まで続けて来られた理由

2人の子供（幼稚園と小学生）を育てながらの仕事ですので、就労条件（勤務地、勤務時間等）が自分

に合致していたことはとても大きいです。また、同じ建設業で働く主人の苦労も少しづつ理解し始めましたし、仕事の話題など主人との会話も増え、夫婦関係が良くなつたからかもしれません(笑)。

※長く仕事を続けていくためには何が必要だと思われますか?

お客様相手の仕事が多いので、相手を気遣う心とコミュニケーション能力かと思います。出逢えた人とのご縁は大事にしたいと仕事に関わらず思っています。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか?

※女性の場合

特に小さい子どもを子育て中の女性は、18時の壁があります。18時が保育園や学童保育のお迎えタイムリミットです。現場などの出先場所から帰社し、そこからお迎えの時間を考慮しなければなりません。また、セミナーや講演会などは18時頃まで開催されるときもあります。現場も夕方もしくは夜間までかかるでしょう。17時には退社できる社会的な仕組み作りが必要だと思います。

※若者の場合

仕事以外で若者らしく過ごせる余暇時間の充実、つまり休日数の増加。また、圧倒的に男性の方が多い業界なので、女性が入りやすい業界にしていく職種の増加が必要だと思います。「建設業=体力が必要⇒女性は無理」ではなく、女性でもできるような作業方法の検討や、誰もが使える建機や機具、ソフトの開発も必要だと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“社内、下請業者、関連会社、行政など、周囲の人とのつながりを！”

➤ プロフィール

- ・性別： 男性
- ・職種： 現場管理（男性）
- ・建設業に携わった年数： 20 年
- ・建設業に関わったきっかけ： （建設業関連の）専門学校に行ったから

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

自分が関わった道路工事等が思うように仕上がった時に喜びを感じます。

※やりがいを感じたこと

下請業者の方々や会社の後輩から信頼されていると感じた時

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労しているところ

後輩（若い従業員）が入社してこないこと。

※工夫している事柄

測量機器等新しいものを取り入れ、負担を減らすようにしています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※今まで続けてこられた理由

上司との良好なコミュニケーションがあったからです。

※長く仕事を続けていくために必要なこと

社内、下請業者、関連会社、行政と、ありとあらゆる人とのつながりを持つこと

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性の場合

3K のイメージをなくすこと。

※若者の場合

昔ながらの見て覚えるのではなく、細かい事から教え、IT 環境を整え、興味を持ってもらうことから始めると良いと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“自分の作った物が長年、目に見える形で残る仕事が建設業”

➤ プロフィール

- ・性別： 男性
- ・職種： 土木建築一式（官更生工、河川土木等現場管理）
- ・建設業に携わった年数： 15 年
- ・建設業に関わったきっかけ： 家業

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

自分の作った物が長年にわたり、目に見える形で残り、その現場の近くを通る度に当時のことを思い出したりすると、達成感や満足感を味わえる。

※やりがいを感じたこと

様々な課題等がある現場では、その都度、工夫しながら施工を進めました。工事が完成した時、元請や発注者が満足し、高評価を得た時。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労していること

会社規模が小さいため、一つの現場をこなす程度しかできません。そのため、自社の社員を増やすのが良いのか等人員確保に苦労しています。

※工夫している事柄

基本的に管理メインで仕事を行うので、作業自体は下請に行ってもらっています。そのため、常に同じ下請に工事をお願いしています。下請の方に常に仕事をしてもらえるように年間を通じて官民両方から仕事がもらえるように営業もしています。

➤ 質問③ 今まで続けてこられた理由

単純に自分の性格に合っているからだと思います。同じ仕事内容であっても、現場ごとに条件や環境が変わるので、常に工夫しながら、より良い物を作るために変化し続けられているからだと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性の場合

建設現場においては、他業種に比べて、労災等のリスクが高いと思います。そのため、女性が現場に来られるといつも以上に安全面等に気を使います。女性自身の体力、筋力アップも必要かと思います。だからと言って、すべて男性と同じ作業をする必要はないとも思います。適正配置により女性目線で現場を見てもらうことで、さらに良い環境、良い品物を提供できると思います。

※若者の場合

現場では、若い人が多い職種はとび職、解体が多いのではないかと感じています。若年者の定着を考えると、給与的には他業種より多いのかなとは思いますが、将来の昇給や、朝の業務開始が早いことなど、遊びたい若い年頃であることを考えると、それがネックになるのではないですか。あとは以前からある建設業＝ガラが悪いというイメージの改善など、建設業全体のイメージアップが必要だと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“建設、土木に関わらず、自分の仕事にプライドと夢を！”

➤ プロフィール

- ・性別：男性
- ・建設業に関わった年数： 2年
- ・建設業に関わったきっかけ： 祖父の代から続く家業だから
- ・職種： 現場監督

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

自分が造った物で街が便利になり、利用者が増えること。そして、皆が喜んでくれることです。

※やりがいを感じたこと

土木工事は自然環境に左右されることもあり、困難なことも多いです。しかし、それらを乗りきって完成された時にやりがいを感じます。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労している事

現場はベテランの職人さんが多いです。その熟練の職人さん達に気持ち良く仕事をしてもらうためにはどうしたらいいだろうか、といろいろ考えています。

※工夫していること

どのような事でも絶対に否定しないこと。その人を尊敬し、理解し、話し合うこと。そして、自分ことも理解してもらえるように、話し合い、協力しあうこと。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※今まで続けてこられた理由

仕事に対するプライドを持つこと、そして、自分の仕事がどれ程世の中に役立つかを考えることです。

※長く仕事を続けていくためには何が必要か

これは建設、土木に関わらず、自分の仕事にプライドと夢を持つことです。いつか必ず「自分はこうなりたい」という理想やイメージがあれば、仕事は楽しくなります。楽しいことは困難があっても続けられると思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性の場合

「男の職場」というイメージを払拭すること。女性は事務だけでなく、現場でも活躍しています。現場で働いている人も意外と多く、優しく接してもらっていると知ってもらうこと。

※若者の場合

私はこの業界に入るまでは富裕層相手の営業をしていて、それなりの地位を得ました。大学でも普通の学科を出ていて、それなりのプライドもありました。しかし、その仕事の内容は建設、土木よりはるかに厳しく、つまらないものでした。なので、強く言えることは、スーツを着ようが、汚れた作業着であろうが、仕事は仕事。変なプライドは持たず、短時間で稼げて、手に職を持って、絶対になくてはならない仕事に就く方が賢明です。建設、土木は社会にとってなくてはならない仕事です。必ず仕事に対する使命感とプライドを持てる職だと言う事を理解して下さい。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“「女の子に何が出来るの？」の言葉をバネに資格取得！”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 8年
- ・建設業に関わったきっかけ： 家業
- ・職種： 舗装業現場作業

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

入社当時は「十代、女性」というだけで、「邪魔」「危ない」「気を使う」と言われ、人によっては「女の子に何が出来るの？」と言われていました。それが悔しくて、機械の免許や資格を取り、「親の会社(娘)だから甘えている」と言われないように、「出来ない」、「無理」を一切口にせず、歯を食いしばって8年が経ちました。ようやく今では、「現場に出てくれて助かる」という声が聞けるようになりました。現場での流れや、職人たちの生の声や思いを聞いて、仕事の向上に生かせることを嬉しく感じています。

※やりがいを感じること

現場のご近所さんから「(舗装工事で道路を)綺麗にしてくれてありがとうね」と言ってもらえること。
これが、一番やって良かった！と感じる瞬間です。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労していること

有資格者の人員不足です。

※工夫している事柄

まだまだ精一杯で、人員不足の工夫は具体的にどうしたらしいのかは、知恵が浮かんできません。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※この仕事を今まで続けてこられた理由

繰り返しになりますが、「女なのに何が出来るねん」「スコップ持てるなんか」「何しに現場来るん」と、厳しい声があったからこそ、今まで続けて来られたと思います。

※長く仕事を続けていくためには何が必要だと思われますか？

忍耐、辛抱強さです。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

「男だから」「女だから」「新人だから」と偏った対応をしないこと。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダ一株式会社

建設未来京都フォーラム 2017 記念事業
インタビュー集『女性たちが語る建設業の未来』

“構想が形になるものづくりの楽しみや喜びを実感！”

NO.11

➤ プロフィール

- ・性別： 男性
- ・建設業に関わった年数： 8年
- ・建設業に関わったきっかけ： 前職退職をきっかけに家業の建設業に入職しました。
- ・職種： 現場管理

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

寺社仏閣の石畳や橋など、少しづつ構想が形になっていく過程で、ものづくりの楽しみや喜びを実感できること。

※やりがいを感じたこと

国内外の観光客や地元の多くの人に自分の作ったものが使われているところや、生活に役立っているところを見た時、直接声をかけてもらった時にやりがいを感じます。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労している事

人材不足です。また、公共工事の減少も悩ましいところです。

※工夫している事

公共工事が減少しているならば、民間工事の拡大をしなければいけません。そして、社員の給与体制の見直しも社内で工夫していることです。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※今まで続けて来られた理由

やっぱり、ものづくりの喜びを知ったからです。工事が取れた時、そして形になっていく過程、完成了様子と全てにものづくりの喜びを感じます。

※長く続けていくためには

やっぱり、社内でコミュニケーションをしっかりととることだと思います。それでこそ意思疎通が図れて、人間関係も良くなると思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性の場合

男性がメインの業種なので、そこで成果を認められると、達成感や優越感が得られると思います。

※若者の場合

建設業が、どのような仕事で、社会にどのような影響を与えているのか、もっと掘り下げて周知する必要があると思います。そして、きちんと説明できる環境を整えていくことも必須です。先に挙げた喜びや達成感が実感できると、おのずと気持ちも前向きになります。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“わが子に「このトンネルはお父さんが造ったんだぞ！」”

➤ プロフィール

- ・性別： 男性
- ・建設業に関わった年数： 25 年
- ・建設業に関わったきっかけ： 土木工学科の学校に行つたため
- ・職種： 土木工事の監理技術者

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

今まで、道路工事やトンネル工事、地下鉄の駅を造る工事等に関わってきましたが、自分の作ったトンネルが地図に載ったのを見た時、大きな喜びを感じました。

※やりがいを感じたこと

奈良や和歌山、京都にある、自分が今までに造ったトンネルや道路、地下鉄の駅などに家族で出向き、「このトンネルはお父さんが造ったんだぞ！」と子供に見せた時に、とても喜んでくれたときにやりがいを感じました。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労していること

社内の ISO 改定作業をまかせられたので、どう整理し、準備を進め、まとめるかに苦慮しています。

※工夫している事

担当している仕事の先々を見据え、段取りを考え、早く準備を進めるようにしています。また、忙しくなってきそうな時には、早め、早めに社員を確保して、時間内に終わるようにしています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※今まで続けて来られた理由

工事を完成させた時の達成感。これが全てです。

※長く仕事を続けていくためには、何が必要か。

制度の改正や、支援体制などいろいろありますが、やはり一番は相談出来る相手を作ることだと思います。また、思うようにいかない時には、逃げ出すのではなく、ぐっとこらえて我慢することも大切です。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性の場合

私は現場で仕事をしてきましたので、女性が現場で働くには、3K を正しく理解をすることだと思いま

す。現場では力仕事も発生しますし、汗もかきます。材料を扱う時には作業着も汚れます。また、関係各所との連携は必須ですので、困難な場合もありますが、それらがうまくいった時には、大きな喜びが生まれるはずです。

※若者の場合

休日を確保することと、残業も少なくすることだと思います。そのためには、段取りと先の見通しを考えることも重要になってきます。そして、やはりコミュニケーションが大事です。お互いにしっかりと意思疎通をはかることで、工事を完成させた達成感を共に味わうことが出来ると思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“長く仕事を続けるためにはコミュニケーションが大切”

➤ プロフィール

- ・性別： 男性
- ・建設業に関わった年数： 20 年
- ・建設業に関わったきっかけ： 建設業に就くことしか考えませんでした。
- ・職種： 現場管理

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

河川や築堤、道路拡張工事など自分が監督した工事が完成し、出来が良く、満足出来た時に喜びを感じます。

※やりがいを感じたこと

地域で災害協定を結んでいるため、災害復旧工事に関わった時、元の通りに戻していく過程と、無事修復出来た時にやりがいを感じます。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労していること

IT 化に伴うパソコン作業です。現場から帰ってきて、パソコンを開き、膨大な資料と格闘しています。納品時には 1m50 cm くらいの長机が埋まるほどの書類を用意しますが、ファイル 15 冊ほどにも及ぶ作業は時間もかかりますし、忍耐力も要ります。

※工夫していること

パソコン作業です。なるべく時間短縮できるように、省略機能を覚えたり、準備をしたり、自分なりに工夫しています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※今まで続けてこられた理由

やっぱり「生活をする」「食べるため」という意識があったと思います。また、社内や関連会社、それに発注元との調整も必須で、「出来て当たり前」に対する様々な出来事に「俺が対処するぞ」と受け止める私の性格もあったと思います。

※長く仕事を続けていくためには何が必要ですか

コミュニケーションです。現場監督は上司や一緒に働く人、行政とも意思疎通は必須ですし、情報収集力も求められます。時には苦情の電話もある中で、担当工事の利益と評価のことも考えなければいけません。多くの人と関わり、話をすることが必要です。

▶ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性の場合

今の時流を考えると、ITスキルは必須です。また、時にはハードなやり取りもあるので、ぐっとこらえる力も必要だと思います。

※若者の場合

何事も最初は思うようにはいきません。でも、辛抱が必要な時には辛抱することです。そうすれば、やりがいや達成感を味わうチャンスは必ず来るはずです。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“止める原因は「仕事がキツイ」「思うようにできない」「人間関係”

➤ プロフィール

- ・性別： 男性
- ・建設業に関わった年数： 8年
- ・建設業に関わったきっかけ： 家業
- ・職種： 現場代理人

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

ものづくりそのもの。そして、民間工事も多いので、工事が完成し、引き渡しをした時に、とても喜んでいらっしゃる様子を見ると達成感が味わえます。

※やりがいを感じたこと

この世界に入った時、ほうきを持って清掃からスタートしました。最初は出来ないことばかりでしたが、自分で勉強し、わからないところを聞いて、また学ぶということを繰り返しました。そうすると、1年前には出来なかったことが出来るようになった時や、経験を重ねて、自分で現場を回すようになり、うまくいった時にやりがいを感じます。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労していること

人材を育てることです。一から十まで見て、教えることが出来たらベストですが、時間との兼ね合いもあります。未経験者でも歓迎ですが、積極的に自分から見て、聞いて、教えてもらうということが出来るようになればいいなと思いますが、なかなか難しいですね。

※工夫している事

とにかくコミュニケーションをとり、上との橋渡しになるようにしていることです。現場担当者には同じ現場になった時に休憩中に声をかけ、また、事務所で働く人には電話で話をする折などに、出来るだけこまめに「最近どう？」と声をかけるようにしています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※今まで続けて来られた理由

自分自身の経験ですが、（入社当時）会社の教育体制が整っていなかつたので、なかなか教えてもらうということが難しかったです。しかし、学ぼう、勉強しようという意識が強かつたので、自分で解決できることも多くありました。そのことで、出来なかったことが出来るようになる達成感があったからだと思います。

※長く仕事を続けていくために必要なこと

辛くとも、途中で投げ出したらゼロになります。人に言われるままにやるのは作業、自分で考えて実行するのが仕事。最初は作業からスタートしても、ゆくゆくは仕事になるように学ぶ姿勢が大切です。仕事が楽しいと思った時に、やりがいは感じられるものだと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性の場合

現場では体力の差はいなめないので、自他ともにその人の限界を知ることが大切だと思います。すべて同じ仕事をする必要はないし、お互いが得意なことをやればいいと思います。事務所内で働く女性は、今よりも専門的な知識を身につけて、スキルアップしたら、仕事が楽しくなり、結果、続けていけると思います。

※若者の場合

やめる原因是「仕事がキツイ」「思うようにできない」「人間関係」だと思います。仕事がキツイことは事実ですし、それを乗り越えようと思ったら、コミュニケーションが大切です。コミュニケーションをとること、とろうとする姿勢が大切だと思います。良い関係を築くためには、朝の挨拶をする、初めて会う人には名刺を渡して挨拶をする等、基本のマナーが必要ですし、今後、自分の成長を助けてくれると思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“先入観で相手のスキルを決めつけない”

➤ プロフィール

性別： 女性

建設業に関わった年数： 6か月

建設業に関わったきっかけ： 職業訓練校で CAD を学んだこと

職種： 技術スタッフ（土木測量）、地域産学官連携研究センター団体職員

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

地域産学官連携研究センターでは弊社と現在東京理科大学が連携し、建築と土木の融合を目指して研究をしています。私自身は自宅を建てた時に一般住宅でも色々な工法があることに感銘を受け、そこから土木とは違った建築の面白さに夢中になりました。その建物の空間にいる人たちの生活や環境を変える力が建築にはあると思います。

※やりがいを感じたこと

将来的には技術を一般市民レベルにまで浸透していきたいと思っています。成功させるために産学官で話し合うことはとても大変ですが、少しずつ形になっていく瞬間にやりがいを感じます。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労している事

新しい技術の習得に苦労しています。建築も土木も業務で携わるのは楽しいのですが、技術の進歩がすさまじく（BIM・CIM）、また異業種からでも技術がリンクすることがあるので多岐にわたる知識が要求されます。

※工夫している事柄

その道のプロに聞くようにしています。自分では勉強しているつもりでも死角になり知っているつもりになることがたくさんあるので、ちょっとしたことでも専門家の方にヒアリングするように心がけています。なんでもわからないことは書き留めて、すぐに調べています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※今まで続けて来られた理由

自分で面白いと思うことを探して、突き詰めることができたからだと思います。個人的に技術を習得することも大切だと思いますが、会社がある程度個人の裁量で任せてくれるので、自分で研修に参加し勉強させてくれることがありがたかったです。

※長く仕事を続けていくためには何が必要だと思われますか？

どんなことでも貪欲に学ぶ姿勢が大切だと思います。また「女性だから、若者、ご年配…」といった

先入観で相手のスキルを決めつけないこと。今後は慢性的な人手不足解消の為、業界の年齢層や性別が幅広くなると思われます。どのような立場の方とでも尊敬の念をもって一緒に携わるようにと心がけています。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性の場合

女性ならではの感覚を大事にして行けたらとおもいます。女性だから細やかな…とは自分の性格上要求されると厳しいところですが、マクロからミクロまでバランスよく全体に目を通していく、インフラにも面白さや人間らしさを取り入れていければと思います。

※若者の場合

近年「ゆとり」という言葉で相手を決めつける方がいらっしゃいますが、そんな若者にこそ今の時代の閉塞感を打破する力があると思います。何人かの若い方と一緒に仕事をさせて頂きましたが、フラットな感覚で対応できる落ち着きを武器にがんばってください！

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“土木建築の人は、実はこころ優しい人が多い！”

➤ プロフィール

性別： 女性

建設業に関わった年数： 1年6ヶ月

建設業に関わったきっかけ： 学校の先生より紹介

職種： 土木工事測量

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

普段、何げなく走っている道にも少し目を向けられるようになったことが小さな喜びです。徒歩での移動の際も、道中の基準点を見つけ、目を向けるものが増えました。陰ながらではありますが、生まれてからトップを争うぐらいにはお世話になっている業界です。知って損をする訳がありません。

※やりがいを感じたこと

自分たちが掛けた丁張り通りに山が切られ形ができていく姿を見たときや、携わった現場の施工が進んでいる所を見たときは、やりがいを感じ感動しました。やはり、規模が大きいので視覚的に得られる達成感も大きいなと思います。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労していること

仕事を覚えることに苦労しています。現場・内業・簡単な営業的なところや事務的なところまで、なかなか手が回らず、覚えも鈍いです。早く仕事を覚えて、一人でもこなせることを増やし、会社も自分も楽になっていけるように頑張っていきたいです。

※工夫している事柄

出来る限り、教えていただいたことはメモを取るように心がけています。個人的に記憶力が非常に乏しいので、体で覚えることができるところは体で覚え、あまり頻繁に行わない業務などは今後の自分のためにもメモを残すようにしています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※今まで続けて来られた理由

一番大きいのは、支えてくれる方々のお陰だと思います。一人では行き詰ってしまった時に手を差し伸べていただけるのは本当にありがたいです。心なしか、土木建築の方は、見た目怖そうに見えても実は優しい方が多いのではないかと思います。

※長く仕事を続けていくためには何が必要だと思われますか？

技術的なところの継承は必要だと思います。若者が入らず、どんどん業界人口が減ってきており、と

言っているだけでは、未来が見えず辞めるという決断につながる可能性が増えてしまうと思います。技術の向上は若者のやる気にも直接つながっていくと思います。

▶ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性の場合

3K といわれる現状を無くし、時間の融通が利くようになるともっと女性も増えていくのではないかと思います。お子さんがいらっしゃったりするとどうしても時間の不都合は大きなダメージになってしまふと思うので、改善が必要ではないかと思います。

※若者の場合

若者にとって、休日の多さは魅力になると思います。働いてお給料をもらい始めたけれど、その貰つたお給料を使える休日がない、というような現状では定着は難しいと思います。もっと安定した休日が取れると若者も入りやすいのではないかと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“生きてゆくために必要な「土木」、生活を豊かにする「建築」”

➤ プロフィール

- ・性別：女性
- ・建設業に関わった年数： 17年
- ・建設業に関わったきっかけ： 父が土木・建設業に携わっており、幼いころから事務所や現場に同行するうちに、自然と同じ職業に就きたいと思うようになっていました。また、高校時代の恩師が背中を押して下さったこともきっかけの一つです。
- ・職種： 測量会社で、三次元設計補助・数量算出・配筋図作成・工事用道路等の仮設設計を行っています。

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

前職で河川を専門としたコンサルに勤めており、そこで熊本県不知火の樋門・樋管設計に携わり、竣工後しばらくして現地を訪れ、自身で設計補助・配筋・積算した樋門を眺めていた時、ふと地元の方から「これがあの時（高潮被害で死者が出た時）あったら、みんな助かったのに。この樋門のおかげで安心してここで暮らせる」と話しかけられ、涙が出るほど嬉しかったのを覚えています。

※やりがいを感じたこと

土木構造物は建築と違い、地中に埋まっていたりへき地にひっそりと佇んでいたりと、地味で決して華やかではありませんが、生きてゆくために必要なのが「土木」、生活を豊かにするのが「建築」と考えておりますので、前者に携わっているのだと思うと、おのずとやりがいを感じます。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労している事

慢性的な人材不足により、急を要する業務・納期の短い業務において、それらを振り分けることが出来ません。また人材育成に割く時間も能力不足のため持てず、一人で抱え込むことによる残業や休日出勤に、若干苦痛を感じる時があります（特に自身の体調不良時）。

※工夫している事柄

業務で使用しているソフトについて配布されているマニュアルは、あくまでも頻度の多い作業についてのもので、弊社特有の作業方法・考え方等ありますので、自身で作業しながら独自のマニュアル作りをおこなっています（料理のレシピ本のようなもので、手書きの文章や絵・切り抜きを張るなど、手作り感満載です）。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※今まで続けて来られた理由

大学在学中、奨学金を受給しておりましたので、親への感謝の気持ちも含め、学んだことを生かした仕事で得た収入で、奨学金を完済するまでは「絶対にこの仕事を続ける」と決心していたのが原動力でした。しかしながら、完済した現時点の方が「一生現役で頑張りたい」という気持ちが強いです。

※長く仕事を続けていくためには何が必要だと思われますか？

万人に通用するものか分かりませんが、私は河川構造物の中でも特に護岸が好きです。川を見ると護岸に目が行き、根入れはいくつかな？環境型のブロックかな？など、少々偏った見方をしてしまいます。私の場合は純粋に、土木がマニアックに好き、という一言にすぎると思います。どんな業種・職業においても「好きこそものの上手なれ」という言葉にありますように、これが天職だと信じて頑張ることも必要だと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性の場合

一心に奮労努力することが美学だった昔と違い、現在の女性はスマートかつ冷静に仕事に取り組まれているように思います。何に重きを置いて仕事をするのかにもよりますが、物理的な職場環境整備は最低限必要だと思います。

※若者の場合

上記は男女問わずですが、土木・建設業はどうしても昔からの古臭いイメージが定着しているので、一般の方々の憧れの職業としての認識レベルを上げるためにも、明るく・時代や流行などの一番新しいところを押さえた広報活動が必要だと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“ライフスタイルの変化に沿った雇用形態への対応が必要”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 15 年
- ・建設業に関わったきっかけ： CAD に興味を持ち、就職先した先（前職）が建設コンサル企業だったことです。
- ・職種： 総務経理（入社後 5 年程は CAD に従事）

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

日頃これだけ密着している土木（道路等）に対し、どのように造られているのか知らなかつた世界で、理屈が分かり、人の力の偉しさ（黒部ダムのような構造物も造り上げる）も知り、興味がどんどん沸いてくる世界でした。知る、分かることがとても喜びでした。

※やりがいを感じたこと

形になっていくもの一部（図面）に携わっていること、自分が作成した図面がどこかで役に立っているということの喜びです。現在は総務経路と部門で仕事をしていますので、現場で働くメンバーをサポートすることです。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労している事

魅力を伝えることです。若い方に興味を持って頂きたいと思いますが、キツイ仕事、残業が多いなどマイナスな部分ばかりが先行してしまい、面白い・やりがいある仕事というところがなかなか伝わらないところです。

※工夫している事柄

わが社が子育て中のお母さんを雇用していることや、○○○小町と名を付け、女性も活躍できる職種であることを、講演会などで発表させて頂く時には積極的にお話をしています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※今まで続けて来られた理由

自分の性格に合っていたこと、興味を持ってて、面白いと思ったから続けられたと思います。

※長く仕事を続けていくためには何が必要だと思われますか？

環境などの周囲の条件もあるのでしょうかが、自分自身が楽しめているという部分は大きいと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性の場合

建設業だけではないと思いますが、ライフスタイルの変化があるので、そのスタイルに沿った雇用形態に対応できることが、必要になっていくと思います。

※若者の場合

長時間労働、土・日出勤等については改善が必要です。また、技術者という喜びを味わって頂ける環境作りが必要のように思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“「そうだ大工になろう！」、型枠大工に転職へ”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 25 年
- ・建設業に関わったきっかけ： 店舗設計の会社でデザイン業務に携わる会社に就職したのがきっかけです。華やかさに惹かれて入社しましたが、新人の仕事は店舗に泊まり込んでの清掃や施工管理が主でした。現場で関わった造作大工さんのモノづくりの楽しそうな姿や、高給与(バブル後半期)を耳にし「大工になろう！」と型枠大工に転職。下積みを 1 年し、すぐに請負を始めました。その後、出産を機に型枠自動加工機や CAM データを開発していた父の会社で 18 年 SE に従事。3 年前に起業し現在へ至っています。
- ・職種： 大型建築物（病院、警察署、大型倉庫、免震ビル、火力発電プラント等）に対して、基本設計時、着工前に設計図の不整合を精査し、施工不良となる箇所をあぶり出してお知らせするサービスを行っています。設計図精査（人的サービス）、設計図から 3D モデル化（弊社開発品システムを使用して自動モデル化 and 自動懸案箇所検出）ほか。

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

型枠大工当時は、達成感がありました。当時、女性はいなかったので短髪にして女性とわからないよう男らしく振舞っていました（笑）。非力なので、大型クレーンのオペさんと打合せをし、組んだ型枠を吊って 1 日の平米数を伸ばしたりして工夫したのは楽しい思い出です。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

起業してからは、人材確保に苦労しています。様々な形で求人していますが、思ったように人材を確保できず、注文をお断りする日々が続いています。

工夫しているのは、人的サービスをシステム化（自動化）しようとしています。100%の置き換えはできませんが、人材も募集しながらシステム化による人材不足からの脱却も目指しています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

同じ設計図が無いことだと思います。飽きません。一度きりの特注品を数百の業者が、段取りして、考察しても、一度限りの集合体。竣工までに全力であった醍醐味は気持ちが良いです。

長く続けていくには、「無邪気に行動してみる」ことの連続だと思っています（失敗多々ですが…）。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

ある一定の年齢までに、傍若無人の振舞をしてみると自身のキャパを知ることが出来ると感じています。結果に捕らわれ過ぎずに、意見を口に出して、行動してみてはどうかと思います。建設業は、創意

工夫の余地がある業種ですので自身の知り強みを磨いて、生かせる業種だと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“仕事を抱えこまず、現場業務と事務業務の垣根を越えた連携を！”

➤ プロフィール

- ・性別： 男性
- ・建設業に関わった年数： 5か月
- ・建設業に関わったきっかけ： 転職
- ・職種： 電気設備工事における施工管理

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

1つの建物を作るのに多くの人達が関わり建設された建物も長い間、使われ残っていきそして人々の生活に大きく関わっていきます。この仕事に就いて建設業を身近に感じるようになり、社会貢献度の高い仕事だと感じるようになりました。まだ、この仕事について日が浅く、できることが少ないですが、私自身の経験や知識が増えれば増えるほどそこに関わる人達に喜んでもらえることも増えていくはずなので頑張りたいと思います。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

この仕事に就いて日が浅いこと、他業種からの転職ということもあり経験と知識が不足していることです。特に専門用語が理解できていないこともあります。日々苦しめられています。現場ではその日わからなかつたことはその日のうちに理解するようにし、知識を増やすために毎日少しでも勉強するようにしています。日々コツコツ学ぶことしかないと思っています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

建設業界で働いている人たちは、日中は現場で夜は図面作成など本当に毎日、忙しく働かれていると感じました。現場の人たちの業務の軽減、現場に集中できる環境作り、現場サイドだけで仕事を抱えこむことなく、現場仕事と事務仕事が垣根を越えた密な連携が実現すれば良いと思います。より多く人と関りながら仕事をすることで、1つの仕事が終わった時の達成感や喜びもより大きくなるのではないかでしょうか。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

専門的な知識や経験が必要な分、仕事を見て覚えていくのは時間もかかるし大変だと思います。社員教育は仕事の理解が深まるように丁寧に教え、社内研修だけでなく外部研修も活用できれば良いと思います。広く知識を得ることで今後の自己啓発にもつながることも出てくると思いますし、予備知識があれば初めて関わる仕事内容であってもその仕事に対するハードルは随分下がると思います。

“自分で悩まないで、すべて自分で背負わないで。相談を！”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 12年
- ・建設業に関わったきっかけ： 転職による
- ・職種： 事務（一般、経理、庶務）

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

わが社の職人さんが完工した建物等を街中で見た時は、こんな大きな建物を施工しているんだ、と誇らしい気持ちになります。やりがいを感じたことは、自分の担当している仕事のことで任せてよかったと言ってもらえる時や自分でうまく出来たと思った時です。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

若手の職人離れが進んでいることです。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

職人さんはあまり話をしないイメージがありましたが、そんな事は全くなくとても気さくだし、社内の方々がとてもよくしてくださるので続けられたと思います。長く続けていくためには、自分で悩んでいないで、まわりに相談したりして、すべて自分で背負わないで協力してもらう事も必要だと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

子育てと仕事の両立する女性の方が増えてきているので、産休・育休制度の充実や、急に仕事を休んでも周囲が困らないような職場環境作り（本人にしかその仕事内容が分からぬこと等をなくす）が必要かと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“上司が信じてくれることで、頑張ろうと思える”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 7年10ヶ月
- ・建設業に関わったきっかけ： 自宅近くで正社員の事務職を希望しており、現在の会社の募集に応募したことがきっかけです。
- ・職種： 電気工事業（交通信号機設備一式、道路照明設備一式、建柱工事、架線(外線)工事等）

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

私は、現場に出ることはなく、一般事務全般の仕事をしておりますが、年数を重ねる毎に、任される仕事も増えていき、おもに書類作成ですが現場の方々の補助にも携わるようになりました。何でも初めての時はわからないことばかりで、自分で1から調べたりすることもあります。時間はかかりますが、その分やり遂げた達成感はとても嬉しく感じます。

時に自分にこの仕事が出来るかなと不安に感じることもありますが、上司がやりきれると信じてくれていることも伝わってきますので、頑張ろうと思えます。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

何でも情報を共有するようにしていることです。参加する入札情報・受注工事の情報・日報など、いつでも誰でも見られるように、社内で情報公開しています。また、私自身の仕事の中でも、いかに同じ作業を繰り返さないか、時間を効率良く使うことを心がけています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

この仕事を今まで続けてこられた一番の理由は2つあります。1つは、子供のことを第一優先にさせて頂けることです。繁忙期なのに、急な病気でも必ず休ませてもらえて、学校行事にも全て参加しています。フルタイムで就業している子育て中の私には、本当に有り難くとても働きやすい環境です。また、職場での人間関係のストレスもなく、とても良い関係だと思っています。

もう1つは、本当に些細な事でも、上司に「ありがとう」と声を掛けてもらい、褒めて頂けることです。自分の仕事を見てくれているのだなと常々感じています。認められているように感じ、仕事にも自信が持てます。

今後も長く仕事を続けていくためには、今の状況に満足せず、日々情報収集し、新しい事にも迅速に対応できる力と能力を高めたいと思っています。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

建設業の現場は特に「見て体で覚える」風習が強いと個人的に感じています。たしかに現場作業は経

験を積むことが重要ですが、時間を掛けてでも必要な講習や研修を積極的に参加することも重要な思います。

その会社のやり方で覚えるのではなく、どの会社に行っても通用するスキルを身につけることは大切だと感じています。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“女性や若者の定着は職場環境整備や人間関係、賃金の見直しを！”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 8年
- ・建設業に関わったきっかけ： 知人の紹介
- ・職種： 管理部マネジャー

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

内勤業務ですが、建築されるお客様が来社された時には、こちらからコミュニケーションをとり、一大イベントの上棟式や、お家の引渡しの際にはなるべく現場に行きます。お引渡し時にスタッフと一緒に加わりお客様のテーマに合った演出を行うなど、感動を共有出来ることに喜びを感じております。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

若手現場監督の人材確保に苦労しております。女性社員や人材確保の為に、女性活躍の動画集を作成して、日々の社内風景をSNSで発信して、社内の雰囲気が伝わるように外部情報発信を行っております。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

私は赤ちゃんができた時に、出産後も働けるよう「在宅ワーク」の導入や、キッズスペースの設置・子どもを見守りながら仕事が出来る様に1部屋作っていただきました。安心して子供を預けられるチャイルドマインダーの資格を仲間が取得してくれて、人の温かい想いで仕事を続けて來ることができました。そういった「人」の想いから感動が生まれ、すべての幸せを見出すと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

職場環境整備や人間関係、賃金の見直しだと思います。週休二日制や、コミュニケーションの取りやすい風土づくり、仕組み、共有が必要だと考えます。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“業務に慣れることなく生活者の目線で現場を見守る！”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 7年
- ・建設業に関わったきっかけ： 子供が小学生になり少し時間に余裕ができたこともあり、主人の家業の手助けをとの思いと、高齢の旧常務（経理担当）の教えを乞えるうちにという考え方から。
- ・職種： 経理、事務、銀行対応、労務管理、映像管理。

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

現在は維持修繕工事も多いですが、やはりゼロから施工し作り上げた道路などを見ると感動します。また毎日その工程を見ているので日々の進行速度が速く驚くこともあります。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

少しいろいろな面で慣れてきているので、その慣れた目で現場を見るのではなく生活者の目線で現場を見るように心がけています。間違った作業や省略している作業を見つけられるようになり、最終的に現場に貢献出来るようになりたいと思います。

また日々の事務・経理の仕事でも、現場でしか利益を生むことはできないので削減できるところを見つけ、また現在取り掛かっている新規事業でも利益を出していきたいと考えています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

建設業は、同じ仕事の繰り返しのみでなく、いろいろなことにチャレンジできる要素をたくさん秘めた業種だと思います。そういう意味では変化がありおもしろいです。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

現場監督として成長するためには、会社や既にいる従業員のサポート体制が大きなウエイトを占めてくると思います。人間ですのでコミュニケーションがしっかりとれる環境にあることが一番大切だと思います。また土木部以外の別の部署がどれくらい土木部のサポートが出来るか、会社も本人も考えながら仕事をすることが大切だと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“竣工後、施設などを利用している人たちの笑顔に喜び”

➤ プロフィール

- ・性別： 男性
- ・建設業に関わった年数： 12年
- ・建設業に関わったきっかけ： 義父（妻の父親）からの誘い。
- ・職種： 会社代表、現場監督（関西電力工事、公共工事）

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

現場監督者として工事を担当した時に、施工中や工事完成後に周囲の方（第三者）から喜びの言葉を頂いた時に建設業のやりがいと喜びを感じました。また、竣工後、施設などを利用している方の笑顔を見ると工事を施工して良かったと感じました。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

どこの業界でもそうですが、会社の技術や知識を継承していくための若手の人員確保で苦労しています。少子高齢化が進んでいますし、地方では若者が都会に出て行く中でいかに人材を確保していくかが課題だと考えています。まだ具体的な案はありませんが、入社された方が長く会社に残ってもらえるように社員に対しても何か工夫（労働条件や福利厚生など）も今後は必要なのかなと考えています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

先輩社員の下について仕事をしている時は感じないかもしれません、工事を任せられ、無事に完成させた時の達成感は計り知れないものがあると思います。そういう事を感じる事ができれば、施工中の苦労もあるかもしれません、長く仕事を続けて行けるのではないかと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

建設業のイメージとしては現場や事務仕事など、まだまだキツイと感じておられると思います。若者や女性の方が建設業に定着するには、残業もなく休日取得を実現し、また賃金も少し低い現状の改善・解消がまず第1歩かと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“「心」が元気であるように努め、いつまでも元気で働きたい”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 33年
- ・建設業に関わったきっかけ： 知人の紹介
- ・職種： 一般事務

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

弊社が手掛けた構造物や道路等を通り過ぎた時、関わった方々の苦労と功績を感じます。また、事務担当者としては、営業マンに伝達するパイプ役として、顧客の最新情報を収集し提供することによって、実績につなげてもらいたいと思います。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

身体と健康面です。若い時（数十年前）は、一晩寝れば疲れもとれて、次の日にはすっかり元気になっていたのですが・・・。最近は、回復力が落ちてきているので、疲れないように、疲れを溜めないように、身体を壊さないようにと健康面には特に気をつけています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

「心」が元気であるように努めています。気持ちの持ち方、目線を変えた考え方、落ち込むこともあります、前向き志向で、頑張っています。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

女性のきめ細かな気づかいや、些細な事に対応できる特性を活かしていけば、相乗効果が現れるのではないかでしょうか。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“現場までヘリ通勤！大自然を体感できる建設業”

▶ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 20 年
- ・建設業に関わったきっかけ： 高校は普通学科でしたが、進学を考えたときに自分が文系志向ではなかったこと、また、両親に“これからは資格が重要になる、資格が必要な仕事は、環境が変わっても続けられるし、求められる”と言われて、家業が建設関係だったこともあり工学部へ進学したことがきっかけで現在の会社へ入社しました。
- ・職種： 土木庶務、測量業務、繁忙期は土木工事現場の現場代理人

▶ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

※建設業と関わった喜び

ひとことで言えば“大自然を体感することができる”ということです。アウトドアが好きなわけではないけれど、現場へ行くために林道などを歩いていかなければいけない場所を通行証やゲートの鍵を預かり車でスイスイと絶景スポット（現場）へ。究極だったのはヘリ通勤。上空から眺める景色はまた格別でした。

※やりがいを感じたこと

建設現場を任せられた人ならほとんどの人が味わうと思いますが、やはり構造物が完成したときの達成感や感慨深い思い。悩んで考えて、相談や討論した結果、うまくいったときはガッツポーズしたくなる…というか多分しています（笑）。じゃあ次の問題点はこうしてみようとか頑張ってしまいます。こういう時はやりがいを感じて、自分自身、張り切っているのだと思います。

▶ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

※現在、一番苦労している事

OA 機器管理の担当もしているため、パソコンが動かなくなったとか、わからないなどの電話が、なぜか忙しいときに限って集中するときがあること。今はパソコンが動かないと業務が滞ってしまうため、出来るだけ早く対処してあげたいのですが、いくら工学部を出たといっても専攻は土木だったのでパソコンについては全くの素人。インターネットで似たような症状の修復方法を検索したりしながら何とか対応しています。

※工夫している事

現場毎に新しい人たちと出会いますが、とにかく人の顔と名前を覚えるのが苦手なので、朝のミーティングは雑談を交えながらちょっと長めに時間をとるようにしています。そうすることで、単純に名前と顔を覚えるだけではなく、人と話すのが得意じゃない性格なのかな、などと想像してみます。よく話す人とは趣味やおいしいお店の情報を教えてもらうなど、印象づけて覚えています。また、作業の内容についても主任技術者の方に一方的にお願いするのではなく、作業員も交えて当日の作業内容について、

自分はこう考えているけど、もっといい方法を知っていますか、などの意見交換をすることで現場もよりよい方向へ進むと考えています。

- 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※今まで続けて来られた理由

ありきたりですが、やはり家族の理解と協力。独身の頃は朝が早くてもお弁当を作つて送り出し、どんなに残業で遅くなつても夕飯を用意して待つてくれていた母親の存在です。結婚後は庶務が主な仕事となつたため、ほとんど残業はしなくなりました。現場を任せられた時などどうしても残業したいときには夕飯を外食やコンビニで済ませてしまうことも許してくれる夫の存在。

そして職場の仲間。いざというときには現場へ駆けつけてくれたり、酔っぱらってグチを言い合つたり、休日は旅行へ出かけたりするくらい仲のいい同僚たち。これら全てがうまく絡み合つてゐるからこそ続けて来られたと思います。

※長く仕事を続けていくためには

職場環境、特に人間関係が大事だと思います。わからないことがあれば気兼ねなく聞くことができ、つらいことがあるときには上司や同僚に助けて欲しいと意地をはらず素直に言える環境が必要。1日のうち3分の1以上の時間を過ごす場所がとにかくつらい・キツイようでは長く続くはずもないと思うからです。

- 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※定着するために必要なこと（女性）

女性だから大変だろうなどと気を遣わずに、本人がやりたいと言えば重機の運転だろうと現場管理だろうと何でもチャレンジさせて欲しい。また、子育てや介護で仕事を中抜けしたい場合（半日休暇を取るほどでもないなど）もあるため、1時間単位で有給を認めるなど柔軟な対応もあつたらいいと思います。

※定着するために必要なこと（若者）

下請け業者も含めて同年代くらいの若者でチームを組み、一つの現場（大きな現場なら現場の一部）を最初から最後まで担当させる取り組みなどしてみたら面白そう。（公共工事なら加点対象にすれば実現できるかも）歳が近い分、何でも忌憚なく意見を出し合つて色々な課題を解決していくだろうし、こうした経験が後の仕事に役立ち、自信にもつながるのではないかでしょうか。自信がつけば仕事が面白くなるし、簡単にやめなくなるのではないかと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“女性ならではの感性で、裏方として社員をサポート”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 5年
- ・建設業に関わったきっかけ： たまたま入社した会社が建設業だった
- ・職種： 総合解体業、建築・リフォーム、とび・土工

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

建設業者の事務員として勤務しています。従業員は殆ど男性ですが、その中で女性ならではの目配り・気配りで従業員の皆さんや経営者がいかに仕事しやすい環境になるか考えながら業務に従事しています。従業員の皆さんから「ありがとう」「助かった」等の声をもらえた時、やって良かったと感じます。事務員ですが、孤立する事なく仲間として扱って頂けることに感謝しながら日々業務を行っています。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

苦労している事は特にありません。工夫している事は、仕事では女性ならではの感性で、裏方として皆さんをサポートできるよう努力しています。現場に出向く際は、逆に女性だからという考え方や行動は出さないようにしています。従業員の皆さんと同じように出来ないかもしれません、少しでも同じ目線・同じ気持ちで仕事する様に心がけています。

施工前の挨拶廻りや、官公庁との対応、お客様への書類対応等、会社ではチームの一員として考え、自分が出来る事を責任もって行うように努力しています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

社内環境が良い事が一番だと思います。男性ばかりの職場ですが、仲間として対応して下さいます。そこが嬉しいですし、だからこそ皆さんのために何ができるかと言う考え方・行動ができると思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

※女性が定着するために必要なこと

社内環境が良いこと、社員育成環境がある事が定着のために必要だと思います。建設業へ入る若者や女性に関しても、学ぶ姿勢・協調性をもって従事することが大切だと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“代わりに子育してくれる母の存在、家族に理解に感謝”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 32年
- ・建設業に関わったきっかけ： ハローワーク
- ・職種： 工事部事務員

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

私は事務職なので、構造物や建築物を自分が創ったという達成感や喜びを直接感じることは出来ません。それでもそれらに何らかの形で係わった、協力できたという喜びは感じますし、誇りにも思います。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

苦労している点は・・・物忘れ（笑）。私の職種は事務員です。現場から戻ってきた職員たちがホッと出来る空間でありたいと日々願っています。現場のことは30年余りいても未だわかりませんが、人間のことは長く生きている分、少しあはわかっているつもりです（なんかいつもと様子が違うとか、今、余裕ないようだな、程度ですが）。

現場から事務所に戻ってきた社員たちには、あいさつ、声かけ、笑顔で迎えることを大切にして、少しでもホッコリできる雰囲気づくりを心がけています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

私の場合は、以前居た先輩と関わったことが今まで続けられたことと関連があるかと思います。当時は若かったので、わがままで、自己中心的な考え方をしていました。仕事も責任感のないままこなしていた気もするし、頼ってばかりで最後は尻ぬぐいをしてもらっていた気もします。今になって、その当時の私を、どう思って見ていたのか改めて質問したいほどです（笑）。でもその先輩は、いつも暖かくしっかり受け止めて、包み込んでくれました。また、私の出産・子育てに際しても、経験者として理解してくれました。だからこそ、私が今まで働けたのだと思います。私もそういう先輩になれたらなと思います。

いまだに上司に注意を受けると反抗することもありますし、心が折れそうになることもありますけれど、持ち前の図々しさで30年余りやってきました。そしてこれからも身体と頭が続く限り頑張っていきたいと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

やっぱり職場の環境だと思います。私たちの世代は（これが口癖になると老いた証拠）、結婚・出産を機に何人もの女性社員が退職していきました。今みたいに育児休暇制度や子育てサポート企業“くるみ

ん”といった、働く女性が、出産・子育てするうえで、認められている制度が充実していなかつたせいもあるでしょう。

幸いにも私には代わりに子育てしてくれる母が居ました。家族の理解もあり今まで働き続けられました。今では、その母の介護という別の難関にさしかかっていますが、これも各種介護施設等を利用することでうまく対応しています。本当に恵まれた環境・条件が整って、働き続けている今があります。本当にありがたいことです。

会社の環境の充実と理解と、何より家族の理解と協力があってこそ、女性であっても引け目を感じず堂々と働いていけるのだと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“見学で現場に踏み入れた瞬間、鳥肌！直感的に建設業へ！”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 6年6ヶ月
- ・建設業に関わったきっかけ： 中学生のころから建築の道に進むことは決めていました。ずっと設計者になりたいと思っていましたが、大学生の頃に建設現場を見学する授業があり、その際に初めて「建設」業界を知りました。現場に踏み入れた瞬間に鳥肌が立ち、直感的にこれだ、と思いました。それがきっかけで現場監督になりたいと思うようになりました。
- ・職種： 安全・品質・コストなど現場施工管理一式（現場監督）

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

新入社員で配属された物件が地図に載ったときは最大の喜びでした。竣工後、ふらっと立ち寄ってみたときに、バルコニーに干してある洗濯物や、部屋の窓から漏れる様々な色の灯り、エントランスから出てくる入居者家族の笑顔、そんな光景を見たとき、本当にうれしかったです。私の造った物件でたくさんの家族の生活が成り立っている、と社会に貢献できた気持ちになりました。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

自らのスキル不足。施工図の理解、技術的な知識の不足、役所関係に対する理解、などなど7年近く働いていてもまだまだ知らないこと、わからないことだらけです。このスキル不足に対しては心が折れそうになりますが、コツコツ知識を身に付けていくしかありません。技術的なことは勉強もそうですが、様々な経験を積み、自分の中の引き出しを増やすしかありません。とにかくいろいろなことに頭を突っ込み勉強しようと心掛けています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

7年弱この仕事続けてきて、何人の職人さんにお世話になりました。「はやく所長になって呼んでくれよ～」と言ってくれる職人さんの言葉を大事にしたいです。自分のスキルを磨き、いつの日か所長となり、お世話になって来た職人たちに恩返しがしたいと、ずっと思っています。

人と人が協力し合って同じ目標に向かって信頼関係を築き、切磋琢磨し合うそんな仕事場です。また、ある程度の割り切りと根性は必要だと思っています。我慢しなければいけないことが多いです。続けてこられた理由の一番はやはり「この仕事が好き」だからだと思います。

ただ、女性だけでなく男性も長く建設業で働くためには、時間の問題、賃金の問題、様々な要素が絡んできます。これまでの収入を保ちつつ、労働時間（休日・残業）問題を解消することが、長く続けていくためのなによりもの解決策であると思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

やっぱり職場の環境だと思います。まずは、この業界を知ってもらうことからではないでしょうか。「けんせつ小町」という言葉が出来たようにここ数年でだいぶ表に出るようになったと感じますが、まだまだ「現場監督」という言葉を聞いても意味や職種がピンとこない人が多いと思います。まずは知つてもらう、興味をもつてもらうことが大切。私が学生時代に建設現場で鳥肌が立ったように、そんな感動を覚える若者はまだまだいると思います。

今、建設業で働く我々がしっかりととした技術・知識を身に付け、これから入ってくる若者に根気強くそれを継承していく、それが必要なことだと思います。また、女性にとってのライフイベントを抱えて「出来る」という意識づけ、前例を作っていくことが必要だと思います。現状、結婚や出産をしたら「無理」「出来ない」というような風潮を感じています。まず、その現状からの脱却が必要です。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“窓から光が漏れ、人々の生活を感じて、溢れ出たやりがい”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 2年
- ・建設業に関わったきっかけ： 就職
- ・職種： 現場の施工管理

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

同じ目標に向かって、多くの人と協力して建物を造っていく喜びがあります。また、完成したときの達成感は言葉では言い表すことができません。私は、マンションの建設工事に携わったのですが、1年後完成したものを見に行ったとき、窓から光が漏れて、人々が生活しているのを感じ、やりがいを感じました。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

出勤が朝早く、帰る時間が夜遅いため睡眠時間の確保に苦労しています。また、男性との差を感じます。重たいものを運ぶとき、周りが2個持てるものを1個しか持てず、同じ作業をするにも人より余計に時間がかかります。また、男性の方から気遣いをしていただけるのですが、何ができるかが学習できていないのかがわからず、また、出来ることであっても任されず、歯がゆい思いをすることもあります。その中で工夫していることは、週に一度早く帰り、調子を整えるようにしています。

週に一回、早く帰れるようにするため、一週間の予定をきちんと立てています。また、男性と仕事をしても男性との差が、明確な場合があるので、女性ならではの会社への貢献を考えて行動するようにしています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

今まで続けて来られた理由は大きく3つあります。仕事でやりがいを感じ、毎日学ぶことが多く樂しいからだと思います。また、会社がサポートしてくれて、ヒアリングや女性施工管理同士の意見交換会を行い、現場内に女性専用設備（トイレ、更衣室）を設置等を行ってくれていることも大きいと思います。もうひとつ、欠かせないのが、頑張る仲間の存在です。同期の二人が日々頑張っているのを聞くと力になります。

長く続けるためには、産休、育児について会社の体制の整備が不可欠だと思います。休暇はもちろんですが、育児中の急な対応が必要な場合（子供の体調不良等）の早退や幼稚園への送迎の時間に帰れる環境づくりも必要だと思います。

また、これは女性に限らないのですが、労働時間の改善です。このまま朝が早く、夜が遅い生活は続けていくことに不安を覚えています。

- 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？
- 労 働環境の整備、賃金アップ、やりがいの周知など、職場の環境だと思います。労働環境は労働時間が他業界に比べ多く、しんどいと思うことも多々あります。今後は、現場における人員の増加、残業に見合った賃金の改善が不可欠だと思います。また、若者や女性に建設業において仕事をしてもらうには、まず、どのような仕事をしているのかを周知する必要があると思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“ベテランも古くからの考え、習慣を一度手放してみてほしい”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 5か月
- ・建設業に関わったきっかけ： 両親が建設業を営んでおり、いろいろと話を聞いてみると、パソコンを使用する作業が苦手で手作業で行っている。時間がかかるので、得意な人がいれば助かると聞き、私はある程度ならパソコンの操作ができるので、少しでも助けになればと思い、建設業の世界に飛び込みました。
- ・職種： 事務作業が中心で日報の入力や見積もりの清書、電子入札をおもに行っています。

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

私が入社してから電子入札を始めました。初めて落札できたときは、みんな喜んでくれて本当に良かったと思いました。まだ1回しか落札できていませんが、今後も落札できるように精進していきたいと思います。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

現在は入札の積算を外部に依頼しているのですが、今後は私ができるように積算ソフトを勉強中です。設計書に書かれていることが、わからないことの方が多いので、現場の資材等の知識も勉強していくかなければならぬと思い苦戦しています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

まだ入社して5ヶ月なので何とも言えませんが、社内の環境がよければ長く続けられるのではないかでしょうか。ベテランの方が、若手の意見にも耳を傾けたり、その意見を採用してみたり、ベテラン、中堅、若手、も同じ人間。あまり上下関係などを作りすぎないような会社といいますか、人間関係が一番大事だと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

建設業は平均年齢が非常に高く、いまだに女性はお茶くみ担当、若者には多少無理をさせても大丈夫だとか、そういった従来の考え方の会社がまだまだ多いと思います。人間には向き、不向きがあるので無意味な業務は減らしたほうが良いと日々感じております。ベテランの方々も古くからの考え、習慣を一度手放してみて、新しいことに挑戦してみてもいいのではないでしょうか。そうすれば離職率も少しは減少するかと思います。

“「危ないから近づいたらダメ」など、マイナスな言葉はNO!!”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 1年6ヶ月
- ・建設業に関わったきっかけ： 地元での就職先を捜しており、様々な会社を見比べた時に、この人たちと一緒に働きたい、と思う人たちがいたことがきっかけです。
- ・職種： 事務職です。おもに保険や給与に関する労務のことや、採用活動をさせていただいている。

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

まだまだ自分がベテランの先輩たちのように仕事ができていないのが分かるので、自分なりの一番良い対応を心がけています。なので、日々の業務で、何気ないことでお礼を言ってもらえると嬉しく、やりがいを感じます。

お客様から電話の対応を褒められたり、いつも挨拶をしていたおばあちゃんが気さくに話しかけてくださったりすると、本当に微々たるものですが、自分の行動が会社の印象を良くすることに貢献できているのかなと思います。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

まだまだ「建設業」について、知識不足だというところです。現場に行ってみても、自分には分からぬ言葉が出てきたり、次の流れを分かっていないのでひと手間かけさせてしまったりと、申し訳ない気持ちになることはしょっちゅうです。

しかし、建設ディレクター育成講座を受講するまでは、ただ漠然と「知らない」と思っていただけで、自分が何をどのくらい知らないのか分かっていませんでした。今は過去の工事の書類を見てどんな書類があるのか調べたり、現場の人たちに自分が手伝えそうなことはあるか、それ教えてもらえるか聞いてみたりしています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

まだ私は入社して間もないで、続けるというよりも辞めるという選択肢がなかっただけですが、やはり周りの人たちのお蔭だと思います。自分の時間を削って仕事を教えてくださったり、いろいろな場面で気にかけてもらったり、早く仕事ができるようになってこの人たちへの恩返しがしたい、という思いが今まで仕事を続けてきた理由です。

長く仕事を続けるためには楽しみを見つけることが必要です。仕事でもプライベートでも、心が楽しく元気に過ごせていれば、仕事を続けていけると思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

建設業に対するイメージの払拭と適度な気遣いだと感じます。小さい頃から生活の中で様々な職業に触れる事はあれども、建設業に携わることはあまりなかったと思います。むしろ、「危ないから近づいたらダメ」「工事中でうるさいね」など、一種の刷り込みのような形のマイナスな言葉で遠ざけられてきたような気がします。家や道路などはあって当たり前で、だからこそ蔑ろにされがちですが、小さい子どもの興味を大人が潰さずに、これはこういう職業でこういう選択肢もあるよ、と提示していくようになれば、もしかしたら若い人たちも増えるのかな、と思います。そのために建設業で働く人々は素敵なんだ、魅力的だということを発信することが必要かもしれません（個々の努力も必要でしょうが…）。

女性に対しては、適度な気遣いで接してほしいと思います。物凄く重い物は持てなくても、少し重い荷物くらいなら女性にだって持てます。気を使っていただけるのはありがたいのですが、本人がやると言っていることを否定してまで気遣ってくれなくとも…と思うこともあります。性別の差ではなく、個々の能力で見てもらえると嬉しいです。プライベートでそういう気遣いができる人はとても素敵ですけどね（笑）。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“長く働くためには技術の習得や資格の取得等、目標を見つけて！”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 18年
- ・建設業に関わったきっかけ： 建設積算ソフト開発販売会社を退職した際、求職中にふと目に留まりました。
- ・職種： 経理、契約書類、見積作成、総務、労務管理、書類作成（経営事項審査・建設業許可・ISO・入札参加資格申請）

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

河川や海岸の堤防や護岸がどのように施工されているのかという見方をするようになりました。実際は現場に出ることは多いのですが、弊社が施工した箇所を見ると嬉しい気持ちになります。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

求人に対して応募がないことです。ホームページで求人情報の発信を中心にし、ハローワークはもとより、それ以外の各種イベント（生徒の職場体験や建設の魅力を発信する授業）にも参加するようにしています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

目標を持つことだと思います。特に建設業は技術の習得や資格の取得等の目標を見つけやすいと思います。私の場合は入社2年目で建設業経理事務士2級を取得しました。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

ゆとりある生活に必要な分を稼げるということ。そして仕事をする環境が物理的にも気持ちの面でも快適であること。まず受け入れる側が現実をチェックして、自分たちにとっても快適であるよう改善し続けることが必要だと思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“人々が協力し完成目指す建設業。その一員でいることが楽しい”

➤ プロフィール

- ・性別：男性
- ・建設業に関わった年数： 13年
- ・建設業に関わったきっかけ： 両親が建設業関係に従事していた事もあり、土木工学科に進学
- ・職種：建設コンサルタント会社で13年間在職し、主に道路・河川の設計業務に従事し、その後実家へのUターンを機に、現在の建設会社で管理業務に従事しております。

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

自分が設計したものが出来上がった時にやりがいを感じました。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

現在は予算と出来高の管理を主にやっていますが、変更や現場でしかわからない事が多々あり、その把握をどうすればよいかを検討しています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

元々建設業に従事していて、数年を経て現在の会社に入ったので続けてきたとは言えないのですが、やはり土木という仕事は大きな構造物や広範囲に及ぶ現場が多く、これらを完成させるために多くの人々が協力し完成させるものであり、その一員でいられることが楽しく感じられることが大きな要因だと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

よくイメージが悪いと言われますが、やはりそこには原因があると思います。業界全体で改善していく必要があると思います。よく俺の若い頃はとか言ってしまうのですが、昔は昔、今は今と理解して、現在から未来を志向して変わっていく必要があると思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“将来、自分で家を持ちたいと建設業界へ”

➤ プロフィール

- ・性別：女性
- ・建設業に関わった年数： 1年未満
- ・性別： 女性
- ・建設業に関わったきっかけ：京町家や町家にもともと興味があったのですが、将来的に自分でも家を持ちたいと考えており建設業界で勉強しようと、現在の会社に入社を決めました。
- ・職種： 現場監督

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

まだ自分がメインでの担当の現場を持ったわけではありませんが、店舗や住宅など改修して出来上がったものを見てお客様が喜んでくださると、「(この現場に)携われてよかったです」と思います。いずれは自分がメインで現場を持ち、プロデュースしたのだと胸を張って言えたらいいなと思います。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

異業種からの転職のため、建築用語や道具の名称、使い方などなかなか覚えられず苦労しています。なるべく現場に出て職人さんや上司・先輩から聞き、ひたすらメモをして自分の武器を増やしていくようしています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

数ヶ月前に入社したので長く勤めているわけではありませんが、負けず嫌いでマイペースな性格だからだと思います。現場に出ても技術面では任せられることが無く、また勝手が分からずにもたつくこともあると、よく注意されるのですが、悔しさをバネにがんばろうと何でもプラスに思うことが必要だと思います。

また個人的な夢として将来家を持ちたいと考えているのですが、自分の夢に直結するような目標を持って仕事に取り組むことも必要かと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

上司や先輩からの指導など教育環境が整っていること。インターンシップ。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“女性定着には、綺麗な職場環境を！”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 15 年
- ・建設業に関わったきっかけ： 新卒で特に理由なく建設業を選んで経理事務に携わる。
- ・職種： 総務、経理事務

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

入札関連図書の図面や工事写真を見ることで、普段何気なく通行している道路の構造等を知り、普段目にすることのできない施工途中の様子を見てることができておもしろいです。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

仕事内容が総務・経理であることから、私情をはさまず、間違いが極力発生しないよう日々の業務を確実に遂行し、できる限り円滑に進むように心がけています。労務管理については間違いがないよう特に気を付けている（つもり）。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

※この仕事を今まで続けてこられた理由

ある程度自分のペースで仕事を進めることができること、日々決まったことをしているようで緩やかな変化があること。

※長く仕事を続けていくために必要と思うこと。

常に新しい情報にも敏感に対応すること。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

綺麗な職場環境。建設業は様々な専門工種があり、多種業者とのやりとりが必要なので各々のコミュニケーション能力が必要であると思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“人は自分の鏡。相手にどれだけ寄り添えるかがポイント”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数：1年6ヶ月
- ・建設業に関わったきっかけ：人材派遣の会社に入社し、その会社が建設業に特化した派遣会社だったため。
- ・職種： 人材派遣 営業

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

自分が直接現場に関わっているということではないですが、現場の方々や、そこで働いている当社派遣スタッフの生の声を聞くと大きなものを作り上げている現場に人材派遣業務を通して、関わることが最大の喜びです。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

人材を扱う仕事で、尚且つ自分が派遣した人材が働いているのは、日々命をかけて働いている現場だと思うと非常に緊張感を持って過ごしています。

また、人材を扱う仕事なので、派遣先の方や派遣スタッフ双方の気持ちを汲み取れるよう、頻繁にヒアリングすることを意識しています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

人に寄り添うことだと感じます。誠心誠意接しても伝わらないこともあります、人は自分の鏡なので、相手にどれだけ寄り添えるか、一体となって物事を進めていけるかどうかが必要だと感じています。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

環境面の充実化、意見交換、縦と横のつながりだと思います。

男性の中で、女性が少ないのは心細いことだと思います。ですので、女性の考えを受け入れられる環境を作ることや意思を尊重することが大切なのではないかと考えます。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“正しい理解を社会に広め、建設業のイメージアップを！”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 2年4ヶ月
- ・建設業に関わったきっかけ： 業務を通じて地域貢献ができると思いました。
- ・職種： 一般事務

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

自分が勤めている会社を通じて、道路から建物まで幅広く携わる「建設業」とは、地域や社会に密接に関わり、なくてはならない仕事だということを実感しています。とても誇らしい仕事をしているのだということを、業務を通じて感じています。

今年の1月～3月の間に、京都サンダー(株)主催の建設ディレクター養成講座の受講を通じて沢山の方々と交流ができ、またその時にコミュニケーションの大切さを改めて学びました。建設業に対しては、今まで知らなかつたこと、ひとつのモノを完成させるために沢山の業種の方々が関わっていること、講義を通じて学びました。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

正解がない業務に携わっているとき、要望を叶えられるように、また満足していただけるように、完成後のメンテナンスまで考えて、いかに良いものを長く継続して使っていただけるか自分なりの工夫が必要な時。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

今まで仕事を続けて来られたのは、同僚や先輩、上司などからのアドバイス及び指導のおかげだと思います。自分も助けられるばかり、教えられるばかりではなく、頼りにされるような人材になりたいと、目標を立てるようにしています。

また、建設業に限らず長く仕事を続けていくためには、会社の体制も大切だと思われます。個性を活かしてくれる、技術力を磨く体制が整っている、など会社からのバックアップがあることにより、自分自身または社員同士のやる気向上に繋がるものではないかと思います。また、仕事は一人でするものでは無いのだからこそ、切磋琢磨して日々の努力と勉強が大切になってくるのではないかと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

「建設業のイメージ」といいますと、きつい・汚い・危険（3K）という言葉が多く語られます。実際の業務に関してそのようなことがなくとも、「建設業」に対する誤ったイメージは広まってしまっている現状があるよう見えています。

安心、安全はもとより実際のいろんな現場での仕事について、当たり前の作業を当たり前にやるだけでは終わらずに、多様な仕事環境の中でいかに安全な作業をしているとか、ということを見てももらえるような環境づくりや発信を行うことで、イメージアップにつながり、若者や女性が活躍できる職場の実現にもつながると思います。

確かに、力仕事だったり、ホコリや泥まみれになったり、大型重機を扱った作業だったりをすることもあるかもしれません。仕事の中身から、やり方、そもそもこの仕事は何のためにやらないといけないのか、そういうことの正しい理解を社会に広めることもイメージアップに繋がり、定着率アップ向上につながるのではないかとも思います。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社

“人と人とのやりとりが多い建設業の雰囲気が好き”

➤ プロフィール

- ・性別： 女性
- ・建設業に関わった年数： 7年
- ・建設業に関わったきっかけ： 大学で土木（おもに都市計画）を勉強し、建設業界へ就職しました。
- ・職種： 施工管理（土木）

➤ 質問① 建設業と関わった喜びや、やりがいを感じた出来事を教えてください。

インフラや構造物をつくり、それが供用されて街の風景が少しずつ出来ていく様を見られるのが、一番の喜びだと思います。土木では、元の地形や土地利用を大きく変えて構造物を造ることもあります。現場は天候に左右されたり、見えない土中の障害物に悩まされたりもしますが、そういった自然の力にも工夫や対策を重ねて施工を進めていくのが、大変ではありますがやりがいを感じています。

➤ 質問② 現在、一番苦労や工夫をしていることは何でしょうか。

現場内での、作業員とのコミュニケーションの取り方には気を遣っています。作業員がいてこそ現場を進めることができるので、彼らへの感謝と労いの気持ちを忘れず、しかし業務の上ではこちらが管理する立場にあるので、わかりやすくはっきりと、時には厳しい態度で臨まなければならず。時には自分の失言で作業員の職人としてのプライドを傷つけてしまうこともあります。管理する立場としての難しさを感じています。そういった緩急の付け方は、先輩社員の方々の話しか方などの対応ぶりを見ながら、勉強するようにしています。

➤ 質問③ この仕事を今まで続けてこられたのは何故だと思われますか？また、長く仕事を続けていくためには、何が必要だと思われますか？

社会インフラの構築に貢献しているというやりがいがあり、また人間味溢れる業界であるからだと思います。人と人とのやりとりが多いこの業界の雰囲気が好きです。互いに意見を言い合える風通しの良い職場環境をつくることが、長く仕事を続けていく上で必要だと思います。

➤ 質問④ 若者や女性が建設業で仕事をし、定着するために必要なことは何だと思われますか？

他業界では一般的になってきたワークライフバランスの考え方をもっと浸透させることが、第一ではないかと思います。現場勤務だと、現場作業が終わった後に内業に着手する等、就労時間も長くなりがちです。現場業務や書類・写真の整理等を省力化するシステムをつくり、受注者・発注者とも積極的に取り入れていくことが業務改善にもつながるのではないでしょうか。また、休暇を取りやすい環境をつくるのも、若者を受け入れるために必要であるように思います。

建設業界に携わる女性に「けんせつ小町」の愛称が付けられることや、女性にとっての追い風は日々感じています。反面、女性を特別扱いしなければならない業界の現状に寂しさを感じることもあります。

就労環境をより良くしつつ、業界の魅力を伝えていければ、より幅広い層に目を向けてもらえる仕事だ
と思っていますし、真に男女の隔たりのない業界になるのではないかでしょうか。

◆ご協力まことにありがとうございました。

京都サンダー株式会社